



Crossculture
Publishing
Company Ltd.

新刊案内

2016年3月下旬発売



いま、小田急沿線史がおもしろい !!

エコーする〈知〉

小田急沿線の近現代史

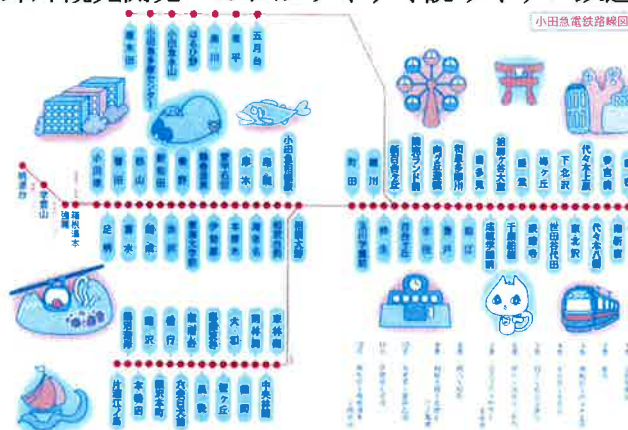
●永江雅和（専修大学教授） ●体裁：A5判・並製 約175頁 【CPCリブレ No.5】

●定価：1,944円（本体1,800円＋税） ISBN978-4-905388-83-8 C0021

鉄道開発の醍醐味が〈人〉と〈土地〉を通じて味わえる、注目の一冊。
今までの鉄道史の観点を覆す面白さ、小田急線の駅の開発がよくみえる。
そうだったのか、ODAKYU EXPRESS—。さあ、本書をもって旅に出よう !!

- 【特色】 1. 今までにない鉄道史のアプローチ〈土地〉からの視点 2. 鉄道開発に関わった人物が等身大で浮かび上がる 3. 鉄道敷設と用地買収の知られざる闘い 4. 鉄道からみた明治・大正・昭和地域開発史 5. 先駆的な郊外観光開発 6. わかりやすく読みやすい鉄道物語

- 第1章 私鉄経営と沿線開発—「阪急モデル」と小田急
 - 第2章 「副都心」新宿の形成と駅ビル建設
 - 第3章 「ファッションの街」渋谷と代々木公園
 - 第4章 世田谷の耕地整理と「学園都市」成城の建設
 - 第5章 狛江市と「雨乞い事件」
 - 第6章 生田村騒動と向ヶ丘遊園
 - 第7章 駅前団地と多摩ニュータウン
 - 第8章 町田の「三多摩壮土」と玉川学園
 - 第9章 「軍都」相模原・座間と林間都市計画
 - 第10章 海老名と厚木の駅前開発
 - 第11章 大山・丹沢の観光と小田急
 - 第12章 小田原・箱根の観光と交通
- あとがき 関連年表、参考文献付。



【口絵：カラー】

本書の主題となる小田急電鉄（設立時の名称は小田原急行鉄道株式会社ですが、以下小田急と略称します）は1923年に設立し、開業は1927年と首都圏の私鉄会社としては比較的後発に属する会社です。創業者の利光鶴松（1863～1945年）は大分県大分郡種田村（現大分市）の農家に生まれました。上京後、五日市で勤能学校の教員となりましたが、同地で自由民権運動の流れをくむ自由党関係者と交流し、政治の世界を志すようになります。中略。その後実業の世界に転身しました。中略。1923年5月1日、東京は新宿から神奈川県の小田原市を結ぶ小田原急行鉄道株式会社（資本金1350万円）を設立し、取締役社長に就任しました。—本文9頁から

クロスカルチャー出版 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-7-6 電話 03-5577-6707 ファクス 03-5577-6708

書店印	発行：クロスカルチャー出版 TEL：03-5577-6707 FAX：03-5577-6708	
	<h3>小田急沿線の近現代史</h3> <p>■定価：1,944円（本体1800円＋税） ISBN978-4-905388-83-8 C0021</p>	
ご担当者（ ）	冊	お名前
	ご住所	電話